

## (地域密着型) 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神

### (認知症対応型通所介護) デイサービスセンターさくらさく

#### 令和5年度 第4回運営推進会議 議事録

日 時：令和 5 年 10 月 19 日 (木)

時 間：10:00～11:00

開催場所：櫻ホーム西神 4 F 多目的室

出席者：別紙参照

#### 1 自己紹介・あいさつ

(1) 出席者と参加者の自己紹介

(2) 施設長挨拶：お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。朝晩涼しくなってきました。体調管理が難しい時期でもあり、新型コロナ・インフルエンザも蔓延しています。今後、感染対策を実施し、十分に気を付けながら、ご入居者様と社会との接点を持っていきたいと考えております。当施設の取組みをご報告させていただき、ご助言・ご指導いただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

#### 2 事業運営に係るご報告

以下、別紙(令和5年第4回運営推進会議櫻ホーム西神)をもとに説明を行った。

##### (1) (地域密着型) 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神

###### ① 稼働率 (P2～3)

資料に沿って現状、原因、対策の説明を行う。目標 98%に対し、個室ユニット型 8月 90.85%、9月 93.96%。地域密着型特養 8月 100%、9月 96.00%。合算で8月 92.68%、9月 94.37%。上半期(4月～9月までの平均)個室ユニット 94.74%、地域密着型特養 97.38%、合算で 95.27%と目標を達成することができなかった。

訪問営業ができず待機者獲得ができなかったことや、入院者が多く発生したことが原因である。今後の対策として、営業の計画を立て実施する。タイムリーに入居調整を行う。入院者が発生した際はタイムリーに空床ショートステイの確保に努める。

今回より、空床ショートステイの稼働率の表を追加している (P3)。4月～9月の平均空室は 128.60室で利用率 23.18%となっている。空床ショートステイ込みの合算の稼働率では9月 98.12%と目標を達成している。

###### ② ご入居者の概要 (P3)

資料に沿って説明を行う。

資料の訂正：(入院者) 概要→ご入居者の概要、平均介護度 3.90→3.71

###### ③ 入院者の概要 (P4)

資料に沿って説明を行う。黄色に色付けされている方は現在も入院中である。ユニット型3名のうち2名の方は今月中に退院予定であるが、1名については退院のめどがたっていない。都度、状況を確認していく。地域密着型の1名については、今月退院予定であったが、発熱のため延期となっている。

④ 入居申し込み状況 (P5)

資料に沿って説明を行う。10/8現在の待機者数は、ユニット9名(男性5名 女性4名)、多床室5名(男性2名 女性3名)保留2名となっている。平均介護度は3.36で、平均年齢は84.81歳となっている。

⑤ 職員の動向 (P5)

資料に沿って説明を行う。8月退職者 正規介護職員 1名。9月退職者 正規介護職員2名。8月入職者 パート看護職員 1名。9月入職者 パート厨房職員 1名などである。

⑥ インフルエンザ・新型コロナワクチン予防接種スケジュール (P6)

資料に沿って説明を行う。インフルエンザは10/16・17・20に職員、11月中旬にご入居者を予定している。新型コロナは11/27・28、12月上旬で調整している。

⑦ クリスマス・お正月の食費特別徴収 (P7)

今年のイベント食を写真にて紹介する。今年度においても、今年の実績(クリスマス 800円、正月三が日 1650円)を基に料金設定を行い提供を考えている。

⑧ 令和5年度 西区感染症対策実務者研修会(西保健センター主催)(P7~11)

資料に沿って説明を行う。神戸市西保健センター主催の西区感染症対策実務者研修会に、施設長・事務局長が出席し、新型コロナの集団発生に係る検証報告を行った。P8~11に検証報告書の一部を抜粋する。

⑨ 事故・苦情の発生状況と詳細 (P11~15)

資料に沿って説明を行う。

(P11~12) 転倒・転落事故が多い。ご自身でトイレに行こうとされ居室内での転倒や座り込みが多く見られる。その他では居室の床頭台の引き出しを引き出しすぎて落ちてしまった。夕方の菓を仕分けする際に、朝・昼の菓が残っていることに気付いた。衣類といっしょに眼鏡も洗濯機に入れ回してしまったなどがある。

(P13~14) 受診した事故内容についての報告を行う。8月・9月に発生した転倒・骨折・入院となった3件について、いずれも神戸市に報告済みである。

(P14) 8・9月のヒヤリハットの報告を行う。転倒が多く挙がっている。その他では、シルバーカーを押すのを忘れて歩いた。ベッドから車いすにご自身で移乗された際に車いすのブレーキをかけ忘れた。ご自身で歯磨きされる際に、歯磨き粉とハンドソープを間違えて使おうとしたなどがあった。

(P15) 昨年度より、ヒヤリハットの件数が減っている。事故防止に役立てていきたい。

⑩ イベント活動内容報告 (P15~16)

8/20 夏祭り 9/10 敬老会の様子を写真で紹介する。夏祭りでは須磨ノ浦高校の生徒20数名がボランティアで来てくれた。

⑪ 介護保険外サービス費用(P16)

食費、理美容代について説明を行う。

**(2) デイサービスセンターさくらさく (P17~20)**

資料に沿って、以下の内容を報告する。

① 利用状況 (P17)

登録者数は24名(男性12名、女性12名)、平均介護度は2.2、平均年齢は83歳となっている。

② ご利用者概要について (P18)

表を用いて地区別、回数別、要介護度別の利用状況を説明する。地区では桜が丘が多く、週2~3回の利用が多い。要介護度は1の方が多く、次いで要介護度2、3となっている。

③ 稼働率について (P18)

今年度の目標 80%に到達できていない。

④ 事故の発生・苦情状況と詳細について (P19)

9月に2件事故が発生している。(入浴介助後に、左前腕の表皮剥離を発見する。車いすの背もたれを戻した際に背中を挟み内出血となった。)

⑤ デイでの様子について (P19)

写真で紹介する。外出レクでは、神戸ワイナリーのカフェでお茶をして、園内を散策した。イベント食では刺身やちらし寿司の豪華なお弁当を提供し、普段食が進まない方もしっかり食べていた。

⑥ 認知症カフェの開催について (P20)

開催の様子を写真で紹介する。8月は診療所医師による講義を開催。9月は介護予防体操を楽しんでいただいた。次回は10/20(金)開催予定。ホームページでブログも更新しているので、また見ていただきたい。

⑦ 介護保険外サービス費用について (P20)

昼食、おやつ、希望者には夕食、理美容のサービスが受けられる。

⑧ 地域活動について (P20)

10/7開催の西区健康福祉フェアに参加し、車いすの相談やリフトの体験してもらった。他施設の方と交流するいい機会にもなった。押部谷西地区ネットワーク会議、月が丘総合防災訓練、スマイルコンサート、月が丘ふれあい運動会への参加も予定している。秋葉台のイベントにも参加していきたいので、お声掛けいただきたい。

### 3 活動状況に係る評価及び要望・助言等

(1) 福永委員：コロナ感染に関して、職員や入居者はマスクを着用するなど保健所からの指導はあるのか。

【回答】マスク着用については、5月8日から新型コロナが第5類となり個人の判断となっている。しかし、高齢者施設などについては、神戸市の対応指針により、検温・マスク着用などの健康管理・衛生対策の徹底を指導されており、感染対策として職員はマスクを着用している。ご入居者は認知症の方もいらっしゃるの徹底することは難しい状況になっている。また、面会については、医師と協議の上、西区保健センターとも協議し、新型コロナワクチン接種後に現在の方法から緩和していくよう検討中である。

(2) 小川委員：西区感染症対策実務者研修会で櫻ホーム西神が検証報告発表に選ばれたのはなぜか。良い事例があったからか。

【回答】新型コロナの集団発生に係る検証報告書を神戸市西保健センターに提出していることを評価され依頼があった。他にも老健施設からも報告書の提出があったようだが、医療機関より福祉施設である特養でどのような対応をしたのか報告してほしいとのことだった。また、当時の様子を、写真を用いて事例に基づき報告した。特養・老健・グループホーム等の高齢者施設、障害者施設の看護師の参加が多かった。P7に写真で紹介しているが、評価できたこと・課題を出し合った。どの施設とも、職員の確保、初動、指揮命令系統や入院すべき入居者を入院させられなかったことなどが課題となっていた。この研修を通じて、お互いに考えていることを共有でき、西保健センターとの関係性が良くなったと感じている。認知症の方の隔離

対応の難しさなど、今後の課題となっている。

- (3) 小川委員：よく検証されたと思う。検証報告書のP21③「入院中にご入居者様の心身機能が低下しないよう・・・」難しいと思うがどのように対応していくのか。

【回答】新型コロナに関してだけではなく、入院するとベッド上での生活となり心身機能が低下することがある。心身機能低下を防ぐため、医療機関との連携・情報のやり取りを密に行い、ご家族の意向を確認した上で早期に退院できるよう調整していきたいと思っている。

- (4) 福永委員：入院が長引くと認知症が進む心配がある。入院しているよりも施設で生活する方がご入居者にとって環境がいいと思うので、家族と相談して退院を進めることはいいと思う。

- (5) 世良委員：病院によっては対応が違うので、早く退院できるにもかかわらず引き延ばすこともあると聞いている。

【回答】病院から退院したご入居者に対しては、当施設の理学療法士などが中心となって、機能訓練を実施し効果を挙げている。また、病院には急性期・回復期・療養によって役割分担されている。急性期病院や回復期リハ病棟などは、診療報酬などによってそれぞれ入院期限が定められているし、回復期リハ病院には、理学療法士、作業療法士などが配置されリハビリ医の指示のもと、専門性の高いリハビリを行っている。また、急性期病院においても早期のリハビリが重要であることから、診療報酬において評価されている状況にある。いずれにしても、病院・施設の役割、機能分担などを踏まえ、施設の生活相談員と病院のソーシャルワーカーとの連携・調整し退院調整を行っている。

- (6) 小川委員：この議事録は市に報告されるのか。

【回答】運営推進会議の議事録は委員の皆様には事前にお渡しさせてもらっており、その内容は神戸市に報告するとともに、施設のホームページにも掲載している。

- (7) 納見委員：検証報告書を見て、皆さんが頑張っていることがよくわかった。行政は一方通行なので、近付いて話し合うことによって理解し合える。ふれまちも皆さんと関係を近くしていくことが大事と感じている。これから協力して何かやっていきたい。防災訓練もお願いしたい。

【回答】よろしくお願いします。

- (8) 小川委員：感染対策は今後も必要であるが、家族はみんな面会を望んでいる。ワクチン接種後に面会方法変更を検討していることを発信してほしい。

【回答】現在、面会については、3回目のワクチン接種が済まれている方、抗原検査で陰性だった方に対し、予約制でご入居者とアクリル板越しでの面会を行っている。ご家族からは「いつになったら面会が再開になるのか」「コロナが落ち着いたらとは、いつどのような状況になることか」という質問は多い。神戸市の対応方針では、「面会については、面会者からの感染を防ぐことと家族等とのつながりや交流が心身の健康に与える影響について考慮すること。具体的には感染の発生状況、面会者及び利用者の体調、ワクチン接種歴、検査結果等を考慮し、直接面会を含めた対応を検討すること。直接面会を実施する場合は、回数、人数の制限や感染防止対策を厳重に徹底すること。」となっており、ご入居者の新型コロナワクチンの接種状況や神戸市における感染状況などを勘案して、居室での直接面会の再開を検討している。

## 4 さいごに

稼働率 98%の目標が達成できたことは、ショートステイ事業の周知ができてきて空床ショートの利用率が上がってきている結果である。一方、デイの稼働率が目標達成できていないという課題が残っている。周知活動はしているものの、認知症デイは神戸市在住の方しか利用ができないという制限もあり伸び悩んでいる。地域ケア会議等で、利用につながらなくてもお困りのケースがあればご相談いただければ幸いである。皆様のお力添えをいただきたい。

次回開催予定：令和 5年 12月 21日（木） 10:00～11:00

### 出席者

#### （第三者委員）

世良 英雄	押部谷東ふれあいのまちづくり協議会 委員長
小川 薫	月が丘自治会 会長
福永 君江	押部谷西民生委員児童委員協議会 会長
納見 年子	桜が丘ふれあいのまちづくり協議会 委員長
江口 裕美	おしべあんしんすこやかセンター

#### （櫻ホーム西神、デイサービスセンターさくらさく）

馬場 宏知	施設長
眞杉 佳憲	事務局長
内田 創一郎	デイサービスセンターさくらさく管理者
北野 諭士	生活相談員課長
長田 知花	生活相談員
松崎 淳子	施設介護支援専門員